

大学連携事業まちスポ出張ゼミ
兵庫県立大学大学院（淡路）課外授業報告
(環境運営組織の事業マネジメント：兼任教員 中村理事長)

- 日 時：2014.6.7(土曜日)1:00～13:00
- 場 所：BRANCH 神戸学園都市 まちスポ神戸交流スペース BRANCH ベジガーデン
- 参加者：学生7人(男4人 女3人)
- ゲストティチャー：大和リース(株)環境緑化事業部 大久保智佳子さん
- 内 容：①まちスポ神戸スタッフ紹介
②まちスポ神戸の概要説明・NPOについて
③BRANCH 学園都市について
④BRANCH ベジガーデン見学
⑤BRANCH 神戸学園都市 環境への取り組みについて 大久保さんよりご案内、見学
⑥フードコートでランチをしながら、『先輩に聞く』コーナー
※特別メニュー
BRANCH ステージイベント ジェンベ(打楽器)ワークショップに参加!
(この時のジェンベ講師に学生の1人が大阪で指導を受けていることが判明。)



学生のみなさんの感想

(1) BRANCH は新しく綺麗な施設で、その中にまちづくりスポット神戸があった。買い物ついでなどに来やすそうな感じで、ベジガーデンや Baby ガーデンなど地域の人と様々な形で関わっている。その活動や講座を通して人々のつながりが生まれ、広がっていくのは、こういったコミュニティなのではと思った。

あと、ベジガーデンについて、何の植物を植えているかが、看板やポスターなどを交えて紹介されていれば、駐車場を利用する一般の人も植物の様子を楽しみやすそうだったと思った。(男)

(2) 今回の授業を通じて、ランチという新型施設が少し分かりました。こういう新型施設は初めて聞きました。これからもっとこのような情報が知りたいです。(男)

(3) 企業(大和リース)と NPO と市民ボランティアの方が、この BRANCH とまちづくりスポットでよくつながっているのが分かりました。ここのスタッフの方も生き生きとしており、良い場になっていると思います。市役所や公民館ではなく、買い物ついでに来れるのも、孤立しがちな母親に利用されやすいポイントだと思います。また大和リースの緑化に力を入れた施設と、ただ「物を売る」だけで集客をするのではなく人とのつながりをつくることでリピーターを増やす取り組みは市民のニーズにも沿うことになっているので、お互いの相乗効果になっているのだと思いました。(女)

(4) 事例を聞いてみると、企画を立て、いろんな人と出会い、その出会いからまた別のグループが発足して、人のつながりの輪が広がっていくのが良いと思いました。

国連でも女性を 3 割以上いれておかないといけない話は初めて聞き、同性だけだと最初は良いが、長続きしないというのも初めて聞きました。(男)

(5) ランチ神戸には初めて来ましたが、商業施設とは思えない雰囲気でも落ち着いた感じでした。ベジガーデンを見学してみて参加者の方が熱心に活動に取り組んでいることがよくわかりました。(男)

(6) 大和リースさんが商業施設の中に NPO を置くという事が、とても新鮮に感じた。利用する方にとっても、立ち寄りやすく、NPO も身近に感じる事ができるように見えた。講座を通して新たに人がつながっていくというのも、とてもおもしろいと思った。

また、組織は男女混合の方がうまくいくという話も興味深く感じた。(女)

(7) 商業施設の中に、こうしたスポットがあり、様々なセミナーや講習が行われていることを初めて知りました。

人が集まる場所につくることで、気軽に立ち寄ることを促すという点がとても有効的だと思いました。またその利点として、小さな悩みや軽い興味だけでも、顔を出す機会が増え、そこから人がつながり、活動へと発展していく可能性があることが分かりました。

個人でない集団での活動においての男女の割合や、継続的に続けていくための見直しなど、作業を繰り返すことの重要性も感じました。(女)